

外来種の拡がりを 食い止めろ！



セイタカアワダチソウ



オオキンケイギク

「黄色い花が増えたなあ」と
最近、感じませんか？

外来種とは

もともとその地域にいなかった(なかった)のに、人間によって運び込まれた生物のことで、外来生物とも言われます。園芸用、食料用、ペット、偶然(荷物や靴底などに付着)によって、国外または他の地域から持ち込まれています。

秋になれば無数の赤とんぼが舞う、そんな日本の原風景が今でも残る勝山市。

ところが近年、写真の植物を市内の至るところで見かけませんか。実はこの植物は“外来種”で、繁殖力がとても強く、在来種(もともとその地域にいる生物)が追いやられてしまい、生態系のバランスがくずれてしまうことがあります。

勝山市の素晴らしい風景を次世代に残していくためにも、外来種の拡がりを防ぎましょう。



勝山北部中学校と校下3小学校との
小中連携環境保全活動

平成 27 年度 勝山市内の 外来種駆除実績

外来種	駆除量
オオキンケイギク	890t
セイタカアワダチソウ	1,470t
その他	60t

※環境政策課調べ

外来種は、一度拡がってしまうと、その拡がりを防ぐ対策を立てることが難しいと言われています。外来種による問題を防ぐためには、不注意で持ち込んだり、野外に捨てたりしないようにすることはもちろんですが、すでにいる

外来種駆除

子どもたちも取り組んでいます

外来種は、一度拡がってしまうと、その拡がりを防ぐ対策を立てることが難しいです。外来種の拡大を防いだり、駆除したりすることが大切です。

勝山の環境保全のために小中学生も駆除活動に一生懸命取り組んでいます。市民の皆様もぜひ一緒に取り組みましょう。



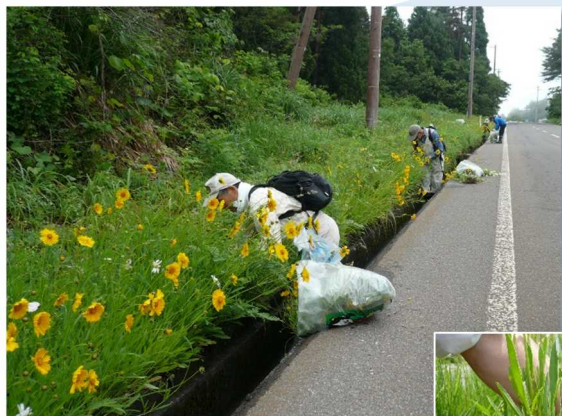
法恩寺山有料道路沿いの
オオキンケイギク一斉駆除活動



鹿谷町まちづくり協議会主催
『セイタカアワダチソウ駆除大作戦』

勝 山 市

日本の原風景が残る「勝山」の 自然環境を守りたい！



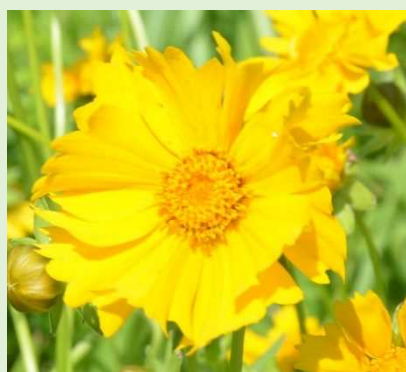
※平成 27 年 6 月 6 日に実施した
オオキンケイギク一斉駆除の様子
(法恩寺山有料道路にて)



根っこから駆除



ごみ袋に入れて
焼却処分



(5～7 月)



(7～10 月)

外来種を繁茂させない
ためには、「**種子**を地面
に落とさない」「**種子**が
付く前に駆除を行う」こと
が大切です。



(7～10 月)



(8～11 月)

写真左上：オオキンケイギク

写真右上：オオハンゴンソウ

写真左下：オオブタクサ

写真右下：セイタカアワダチソウ

※カッコ内は開花期

市民の皆様のご協力をよろしくお願いします

お問い合わせ 勝山市 環境政策課 TEL 0779-88-8104